

環境会計情報

Environmental Accounting

2013年度に環境負荷削減や環境配慮の取り組みにより投入した環境保全コストは約9億98百万円でした。(但し、環境会計を導入していないため、会計システムから抽出したもののうち工事・役務で把握しているコストを集計したもので、これは研究所予算の約18.0%を占めています)。2013年度は温暖化対策として講じた受変電設備の改修や空調設備等の高効率化に大きなコストを費やしていますが、次年度以降、エネルギー費の節減が期待されます。

環境保全コスト(2013年度実績)

コストの分類	取組内容	金額(千円)
地球環境保全コスト		980,281
地球温暖化対策	受変電設備の改修(高効率型変圧器への更新等)	108,150
	照明器具のセンサー化及びLED灯への更新	2,178
	空調設備等の高効率化	869,468
	ブラインドの設置等	485
資源循環コスト		13,046
水環境等保全	実験廃水処理施設運転保守管理	6,527
	一般廃棄物処理	2,407
廃棄物・リサイクル対策	産業廃棄物処理	3,112
	化学物質対策	1,000
作業環境測定(有機溶媒等)		1,000
管理活動コスト		4,959
自然環境保全	緑地環境整備	4,301
	環境情報開示	658
合計		998,286

環境保全効果

効果の内容	環境保全効果を示す指標	2012年度	2013年度	前年度比(%)
事業エリア内で生じる環境保全効果	全体エネルギー消費量(GJ)	194,583	190,063	98
	電力使用量(千kWh)	15,342	15,075	98
	都市ガス使用量(千m ³)	78	142	182
	石油燃料使用量(kℓ)	11	13	118
	高温水使用量(GJ)	40,966	36,070	88
	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	9,410	10,319	110
	水資源投入量(千m ³)	388	340	88
	上水使用量(千m ³)	108	66	61
	井水使用量(千m ³)	84	66	79
	研究用水使用量(千m ³)	196	208	106
	廃棄物総排出量(t)	76	52	68
	一般廃棄物(t)	21	12	57
	産業廃棄物(t)	55	40	73
	下水道排水量(千m ³)	81	62	77

環境保全対策に伴う経済効果(実質的効果)

項目	金額(千円)*
費用節減	
省エネルギーによるエネルギー費の節減(電力、ガス、石油燃料使用料金)	-40,655
省資源による節減(上下水道使用料金)	12,022
廃棄物処理費の節減(収集運搬、処理委託業務費)	3,373
合計	-25,260

* 2012年度にかかった費用から2013年度にかかった費用を差し引いて計算しました。